

令和7年度第3回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和7年8月6日（水） 午後2時00分～2時40分
2 場所	大和市役所 本庁舎5階第5会議室
3 出席者	委員8人（長谷部美由紀 委員（会長）、近藤憲之 委員、 和泉純一 委員、東郷秀夫 委員、徳王好恵 委員、 平田美智子 委員、松田真弘 委員、南真美 委員） 事務局3人（政策総務課長他2人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	（1）議事 ①令和6年度市民参加手続の実施状況について ②その他
6 議事要旨	・前回会議の内容を基にまとめた答申案について意見交換を行った。 ・今回会議での議論を踏まえ、会長と事務局で答申内容を調整し、委員に確認した後に市長に答申を行うこととした。
7 会議資料	・資料1：令和6年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について（答申案）

【主な意見等】

委員：答申案の付帯意見の一つ目について、「当該政策による効果や影響を明快に示すことが重要と考えます。」とあるが、この部分を「当該政策による効果や影響を明快に示す工夫を検討してください。」と柔らかい表現に修正してはどうか。

付帯意見の二つ目について、意見公募手続は、より多くの方の意見を集めるために、同時期に開催されているイベントやワークショップに合わせて実施してみてもどうか。イベントやワークショップには多くの方が参加されているので、そういった場所で意見を集める工夫をすれば、多くの意見提出が見込めるのではないかと思った。

事務局：付帯意見の一つ目については、いただいた意見のとおり修正する。また、付帯意見の二つ目についても、いただいた意見を反映した文言を追記する。

委員：SNSで大和市について検索したら、「市長への手紙」制度がポジティブに取り上げられていた。この「市長への手紙」は私も非常に良い取組だと捉えている。既存の取組をもっと周知することで、市民が自分事として捉えやすくなり、意見をより吸い上げられるのではと思った。

事務局：付帯意見の一つ目に関連する内容と思われるので、いただいた意見を反映した文言をそこに追記する。

委員：市民参加は、様々な世代の人が、市の取組や自分たちの生活に対して、興味関心を持ち、当事者意識をいかにつくれるかが重要だと思う。また、市民が意見を届けられる仕組みと、それを行政が受け止められる仕組みづくりが大切だと思っている。

デジタル化により利便性が向上する一方で、高齢の方がアクセスしづらくなるという課題がある。その意味では、回覧版のような仕組みも大切だと思っており、紙媒体を完全になくすのではなく、共存させるための仕組みを考えていけるとよいと思った。

委員：デジタル化だけを進めてしまうと、どこのサイトでも SNS の登録が必要で SNS からの通知が多くなり、却って情報を見なくなってしまう。

意向調査などを実施する際には、まずは封筒で届いて、デジタルでも回答できる仕組みなど、デジタルとアナログを融合させた工夫が必要だと思った。

事務局：本日いただいた意見を踏まえ、付帯意見を修正する。後日、会長と調整したのち、委員の皆様に変更して答申案を確認していただきたい。

以上